

BAUMオークの森 植樹式について

1 はじめに

当部では、企業の森づくり活動として、令和3年9月に(株)資生堂、住友林業(株)及び岩手県の3者で協定を締結し、県有模範林をフィールドに森林整備の活動を支援してきたところです。

この度、今年度の植樹作業支援を10月24日に行いましたので、その様子を紹介します。

2 企業の森づくり活動の計画

本活動は、住友林業(株)が作成した“BAUMオークの森”植林計画に基づき、令和3年から令和12年までの10年間、盛岡市薮川地内の県有模範林 約2haの区域で、地拵え、植栽及び下刈りを実施しているものです。

現場管理については、住友林業(株)から委託を受け、岩手県森林整備協同組合が担当しており、植栽については、年に1回、関係者が会して植樹式を開催しています。

3 植樹式

植樹作業は、0.2haの区域に600本のミズナラの苗木を植え、植樹式は今回で5回目を迎え、合計植樹本数は3,000本となりました。苗木は、住友林業(株)で発芽させ、全国の資生堂BAUMの店舗内(16店)で育苗したもので、都市と森林を繋ぎ、循環させるという本活動のコンセプトを反映したものとなっています。



参加者は、(株)資生堂関係者、住友林業(株)、岩手県森林整備協同組合、盛岡市及び当部の計61名で、遠方からは、広島県の店舗から参加された方もおりました。

当部では、植樹方法の指導や、参加者の安全作業に配慮した支援を行ったほか、蜂やクマ対策についてもアドバイスを行いました。

植樹した現場は、急傾斜地も含まれており、足元がおぼつかない中ではありましたが、参加者は自然と触れ合いながら、笑顔で作業に取り組んでいる様子でした。当初から参加している資生堂関係者からは、「初年度に植えた苗木の成長を見ながら新たな苗木の植樹を行い、既に3,000本も植えていると考えると、すごい取組に参加していると感じる」とのお話もありました。

4 おわりに

参加者は、「600本も植え終わるのかと思っていましたが、あっという間で、もっと植えたかった」と楽しんで作業されておりました。

当部では、今後も企業と森と人とのつながりを大切に、楽しみながら森林整備を実施してもらえるよう、企業の森づくり活動の支援に継続して取り組んでいきます。

